

## 森の目が世界を問う

アフリカ熱帯雨林の保全と先住民

市川光雄 著

A5判上製 288頁 予価：本体3600円+税  
ISBN978-4-8140-0310-5 C3039

刊行予定：2020年12月中旬 条件：新刊委託

読者対象：専門

おすすめの棚：人類学

おすすめ度：★★★★☆

### ◎森林保全と地域住民の生活をどう両立するか？

富裕層のスポーツハンティングが許される一方で、地域住民の生活のための狩猟が規制される——。アフリカ熱帯雨林のこの現状は、外部主導の自然保護が抱える問題を浮き彫りにする。約半世紀にわたり現地住民の生きる世界を見つめてきた著者ならではの視点で、人と自然の共存世界の在り方を考える、「森の目」から世界への一石である。

◆市川光雄：京都大学名誉教授

近代社会思想コレクション 31

## 穀物立法と穀物取引について

ジャック・ネッケル 著／大津真作 訳

四六判上製 340頁 予価：本体3800円+税  
ISBN978-4-8140-0312-9 C1310

刊行予定：2021年1月上旬 条件：新刊委託

読者対象：一般～教養

おすすめの棚：哲学、社会思想

おすすめ度：★★★★☆

### ◎フランス革命前夜穀物取引をめぐる論争の書

フランス革命前夜、財務総監テュルゴーが穀物取引の自由化を宣言し価格が暴騰、大経営農民や穀物商人のみ利益を独占したため小麦粉戦争が起きる。財務長官ネッケルは本書でテュルゴー批判を展開し、穀物取引は人民の福利のためと説いて広く支持されるが、保守派の激しい反対があり、彼の財務長官解任劇が引き金になって革命が勃発する。

◆大津真作：甲南大学名誉教授

## 注文書

10月号③

お申込みは→ 京都大学学術出版会

FAX：075-761-6190

番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		森の目が世界を問う 【11/20 締切】 ISBN 978-4-8140-0310-5 C3039 予価：本体 3600 円+税
番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		【近代社会思想コレクション】 穀物立法と穀物取引について 【12/15 締切】 ISBN 978-4-8140-0312-9 C1310 予価：本体 3800 円+税